

裁判員裁判に関する弁護士会の取組状況

前 田 裕 司

1 裁判員法成立後施行までの取組状況

- ① 法廷弁護技術向上
 - アメリカから弁護士を招いての複数回にわたる研修
アメリカへの弁護士の研修のための派遣
 - 全国各地で研修会の開催
 - 法廷弁護技術のテキストの出版
- ② 弁護戦略の検討
 - 模擬裁判の検証を経ての裁判員裁判の弁護の戦略検討
 - その検討を踏まえた研修会開催
 - 日弁連機関誌「自由と正義」への連載と出版
- ③ 公判前整理手続の充実
 - 公判前整理手続の運用状況の情報収集と分析検討
 - その運用状況などを踏まえた研修会の開催
 - 公判前整理手続に関するテキストの出版
- ④ 法廷用語をわかりやすくするための検討
 - 外部委員も交えたPTを設け「裁判員時代の法廷用語」を出版
- ⑤ 裁判員制度を担う弁護士の確保
 - 被疑者国選の大幅な拡大と裁判員裁判を担う弁護士の確保が必須
→各弁護士会での対応態勢名簿を整備
日本司法支援センターの常勤スタッフ弁護士の確保
- ⑥ 広報活動
 - 裁判所、法務省、検察庁と共同での広報活動
 - 日弁連によるシンポジウムの開催、広報用映画の製作、ホームページの作成、パンフレットの作成、講演依頼への対応

2 裁判員法施行後の取組状況

- ① 法廷弁護技術や弁護戦略のための研修
 - 裁判員が「見て、聞いて」わかる弁護技術の向上
 - 裁判員を対象とする弁護戦略検討のための研修
→実演参加型の研修を各ブロックで開催
衛星放送を利用したサテライト研修

- 各弁護士会でも同様の研修を実施
- ② **裁判員裁判における弁護活動の検証**
 - 2009年10月、第1回全国経験交流会
 - 2010年9月に、第2回全国経験交流会を予定
 - 日弁連、最高裁、法務省三者の運用協議会を実施
 - 各弁護士会での裁判所、検察庁との三者による協議会開催
- ③ **会員にむけた情報の提供**
 - 経験交流会の情報を冊子にまとめて発行
 - ファクスによる随時の運用状況、各種の通達、研修会の開催情報
 - メールマガジン、日弁連新聞、日弁連ホームページによる情報伝達
- ④ **裁判員裁判の担う弁護士の確保**
 - 国選弁護人の質の確保の観点から対応態勢名簿の再検討
 - 日本司法支援センターの常勤スタッフ弁護士の補充

3 これまでの評価と今後の取組課題

- ① **これまでの評価**
 - 裁判員裁判は比較的順調に滑り出したと評価
 - 事実関係に大きな争いがない事件が中心
- ② **今後の課題**
 - 弁護活動のさらなる充実強化のための研修
 - 法廷弁護技術の側面と弁護戦略方針の側面
 - 制度・運用の見直し